

| | |
|---------|--|
| 氏名 | 谷野 多見子(たにの たみこ) |
| 職名 | 助教 |
| 専門分野 | 公衆衛生看護学、在宅看護論 |
| 学歴 | 和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科博士前期課程修了 |
| 学位 | 修士(保健看護学) |
| 担当科目 | (学部)教養セミナー、健康と看護、家族と看護、在宅看護論、保健看護管理演習 公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護方法論Ⅰ・Ⅱ、 早期体験実習、在宅看護実習、地域連携実習、家庭訪問実習、公衆衛生看護実習、統合実習Ⅱ |
| 研究テーマ | 1. 公衆衛生看護学 2. 訪問看護 3. がん患者のQOL 4. 子どもの発達と療育 |
| 所属学会 | 日本看護学会、日本衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本在宅ケア学会 日本がん看護学会、日本小児保健協会、日本医学看護学教育学会 和歌山県立医科大学保健看護学会 |
| 研究業績 | <p><論文></p> <ol style="list-style-type: none"> 谷野多見子, 山田和子, 森岡郁晴(2016): 成人前期の術後乳がん患者のQOLの実態とそれに関連する要因. 日本衛生学雑誌, 71(2), 163-172, 2016. 谷野多見子, 岡本光代, 石井敦子, 前馬理恵, 山田和子: 看護基礎教育に保健所と市町村での地域保健演習を取り入れた学生の学び-保健師へのインタビューを実施して-. 和歌山県立医科大学保健看護学部紀要, 第11巻, 39-50, 2015. 谷野多見子, 山田和子, 前馬理恵, 石井敦子, 岡本光代: 地域看護実習において学生が実施した健康教育の自己評価の分析と指導方法の検討. 和歌山県立医科大学保健看護学部紀要, 第8巻, 19-27, 2012. <p>他</p> <p><学会発表></p> <ul style="list-style-type: none"> Tamiko Tnino Kazuko Yamada Ikuharu Morioka : Factors related to quality of life of young postoperative breast cancer women, 48th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health. 2016. 谷野多見子, 岡本光代, 石井敦子, 前馬理恵, 山田和子: 看護基礎教育に保健所と市町村での地域保健演習を取り入れた学生の学び. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2016. 谷野多見子, 山田和子: がん患者の在宅療養における訪問看護の現状と課題に関する文献検討. 第29回日本がん看護学会学術集会, 2015. 谷野多見子, 山田和子, 森岡郁晴: 成人前期の術後乳がん患者のQOLの実態とそれに関連する要因. 第18回日本在宅ケア学会学術集会, 2014. 谷野多見子, 山田和子, 前馬理恵, 石井敦子, 岡本光代: 地域看護実習における健康教育の取り組み-演習と実習の自己評価表からみた学生の学び-. 第22回日本医学看護学教育学会, 2012. <p>他</p> |
| メッセージ | <p><活動の紹介></p> <p>子どもの発達講座や保健師の勉強会を運営しています。子どものすこやかな育ちのために、地域の保健師の皆さんと共に学んでいます。また、がん患者さんのQOLを高める支援を研究しています。がんや病気になってもいきいきと暮らせる地域を目指しています。</p> <p><学生へのメッセージ></p> <p>4年をかけて看護の魅力をみつけましょう。保健師は地域をみて(知る)、人と関わり、つながりながら活動を広げます。また、支援を求めない人へも介入します。一人ひとりがより健康に過ごせるような地域を一緒に作りましょう。</p> |
| メールアドレス | tani-no@wakayama-med.ac.jp |